marantz®

Network Audio Player

NA7004

取扱説明書

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

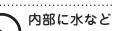
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

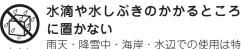
火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。
火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

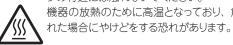
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

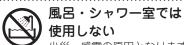
使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの付近には触れないでください。
機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

高温注意

禁止

乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

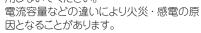
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽症を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切っても電源コンセントからは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜くことができるようにしてください。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、
お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所 / サービスセンターにお問い合わせください。

目次

付属品を確認する

ご使用の前にご確認ください。

① 取扱説明書（本書）..1
② 保証書（梱包箱に貼り付けています）..........................1
③ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内 1
④ リモコン 1
⑤ 電源コード【本機専用】（長さ：約2m）... 1
⑥ 音声ケーブル（長さ：約1ｍ）..1
⑦ リモートコントロール接続ケーブル..............................1
⑧ 単4形乾電池...2
⑨ iPodスタンド..1
⑩ ワイヤレスレシーバーRX101 1

④ ⑤ ⑥

⑦ ⑨ ⑩

本書について

❑操作説明のボタンについて

本書の操作説明は、リモコンの操作ボタンをメインに説明しています。

❑マークについて

☞ このマークは、関連情報を記載している参照先のページをあらわします。

このマークは、補足説明や操作上のアドバイスをあらわします。

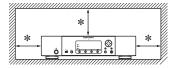
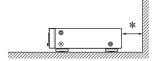
ご注意 このマークは、操作時に留意していただきたい注意点や、機能の制約などをあらわします。

❑イラストについて

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

使用上のご注意

設置について

本機内部の放熱を良くするために、壁や他の機器との間は、十分に離して設置してください。

＊ 10cm 以上

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

本機の特長

ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズ低歪フィルター回路と高速 HDAMSA2 送り出しアンプ

シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4392 を搭載

D/A コンバーターとして使用可能（USB/ 同軸デジタル / 光デジタル）

高級ヘッドフォン回路

DLNA（Digital Living Network Alliance）ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載

vTuner を利用してインターネットラジオ ラジオステーション検索

iPhone® や iPod® の再生に対応した USB 端子搭載

Bluetooth レシーバー RX101（付属）接続端子 M-XPort 搭載

3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載

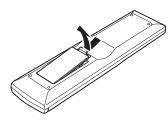
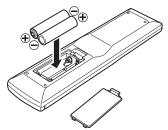
ダブル・レイヤード・シャーシ

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

乾電池の入れかた

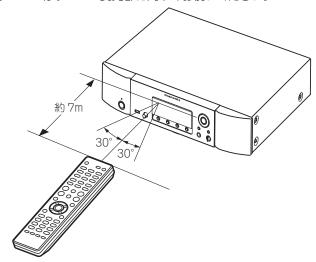
① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。

② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示とおりに入れる。

③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。）
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - 乾電池を直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内に付いた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなる場合があります。

接続

この章では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明します。
その他の機器の接続方法は、以下のページをご覧ください。

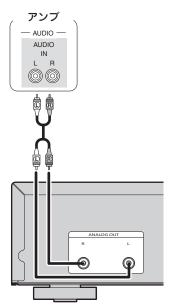
❑ ワイヤレスレシーバー(RX101)を接続する （☞18 ページ）

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しく L と L、R と R を接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルを一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因になります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

アナログ接続

接続に使用するケーブル

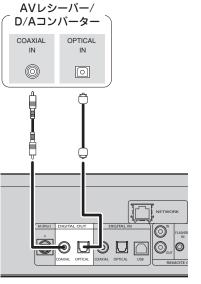
音声ケーブル（付属）	
ステレオピンプラグケーブル	（白） （赤）

デジタル接続

接続する際、市販の光デジタルケーブルまたは同軸デジタルケーブルをご使用ください。

接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）
光伝送ケーブル
同軸デジタルケーブル

デジタル音声出力

本機に AV レシーバーや D/A コンバーターなどのデジタル機器を接続すると、本機から出力するデジタル音声を楽しむことができます。

ご注意

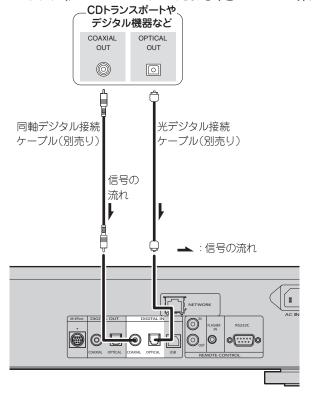
M-XPort の信号は、デジタル音声出力はできません。
デジタル音声出力ができるのは、USB、iPod、インターネットラジオ、ミュージックサーバー、パソコン、COAXIAL、OPTICAL のデジタルオーディオ信号です。

デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売り）で接続するとき

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

デジタル音声入力

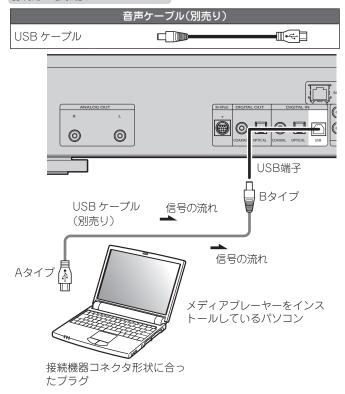
本機に CD トランスポートやデジタルオーディオ出力を備えた機器を接続すると、本機を D/A コンバータとして使用することができます（「D/A コンバーターを使う」（☞15 ページ））。

ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

パソコンとの接続

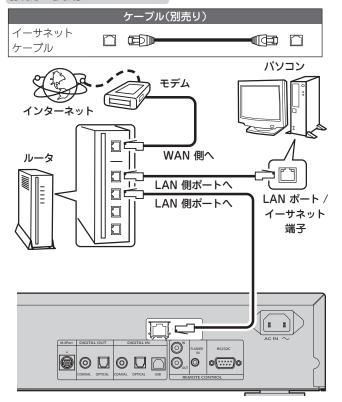
- 本機のリアパネルの USB 端子に、パソコンを別売りの USB 接続ケーブルで接続すると、本機を D/A コンバータとして使用することができます（「D/A コンバーターを使う」（☞15 ページ））。

接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）	
USB ケーブル	

ホームネットワーク（LAN）に接続する

- 本機をホームネットワークに接続すると、パソコンに保存されている音楽ファイルやインターネットラジオの音声などをお楽しみいただけます。また、パソコンからウェブブラウザを使用して本機を操作することができます（☞27ページ「ウェブコントロール機能」）。
- 当社のホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートできます。
詳しくは、メニューの「ファームウェアのアップデート」（☞24 ページ）をご覧ください。
- ネットワーク設定のしかたは、メニューの“Network Setup”「ネットワークの設定［Network］」（☞19ページ）をご覧ください。

接続に使用するケーブル

ケーブル（別売り）	
イーサネットケーブル	

インターネットの接続については、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

必要なシステム

❑ブロードバンド回線によるインターネット接続

❑モデム

ブロードバンド回線と接続して、インターネットと通信をおこなうための機器です。
ルータと一体型のものもあります。

❑ルータ

本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
- DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
- 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。

❑イーサネットケーブル（CAT-5 以上を推奨）

- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルをお使いください。
- イーサネットケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルをご使用になると、ノイズが他の機器に影響をおよぼす可能性があります。

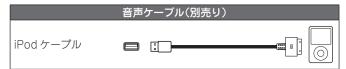
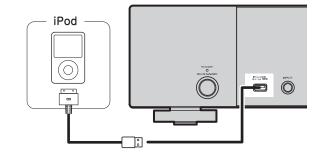
- ネットワークの設定を手動でおこなうタイプの回線で、プロバイダ契約を結んでいる場合は、メニューの“Network Setup”「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞19 ページ）をおこなってください。
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定をおこなうことができます。
- ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、メニューの“Network Setup”「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞19ページ）で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。
- 手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

ご注意

- インターネットに接続するには、ISP と契約する必要があります。
すでにブロードバンド回線を利用してインターネットに接続されている場合は、新たに契約する必要はありません。
- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 当社では、お客様のネットワーク環境および接続機器に関する通信エラーや不具合については一切責任を負いかねます。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- イーサネット端子は、直接パソコンの LAN ポート / イーサネット端子と接続しないでください。

iPod を接続する

接続に使用するケーブル

音声ケーブル（別売り）	
iPod ケーブル	

iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。

❑対応 iPod

iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod classic
120GB 160GB (2009)

iPod classic
80GB 160GB

iPod
5th generation
(video)
30GB

iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB

iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB

iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
16GB 32GB

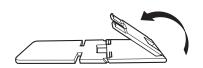
iPod touch
3rd generation
8GB 32GB 64GB

iPod スタンド

付属の iPod スタンドに、iPod や iPhone を置いて使用することができます。

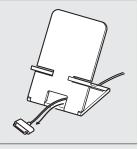
❏組み立てかた

以下の手順で組み立ててください。

①

②

③

❏iPod の置きかた

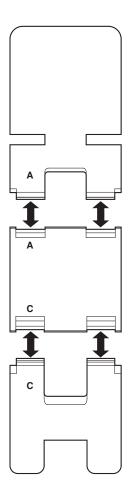
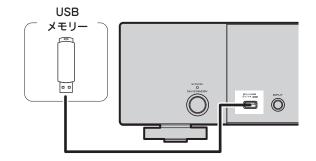
1 iPod スタンドの穴から iPod ケーブルを通す。

2 iPod ケーブルを iPod に接続する。

3 iPod stand に iPod を置く。

ご注意

- iPod スタンドは、必ず水平な場所に置いてください。
- iPod スタンドに iPod や iPhone を置いたまま操作しないでください。iPod がスタンドから落ちる場合があります。
- iPod の中には、iPod ケーブルを接続すると、iPod の底面がふさがり、iPod スタンドに置けないものがあります。
- iPhone を iPod スタンドに置く場合、必ずバイブレーション機能を無効にしてください。iPhone が転倒し、破損の原因となります。
- iPod スタンドを本用途以外で使用することは避けてください。
- 本製品を使用しているときに、万一接続機器を破損した場合、当社は一切責任を負いません。

❏iPod スタンドが外れた場合

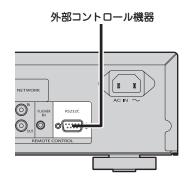
以下のように組み立ててください。

USB メモリーの接続

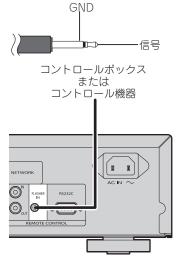
ご注意

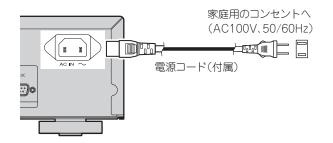
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。
- USB メモリーの詳細については、「USB メモリーについて」（☞30 ページ）をご覧ください。

その他の接続

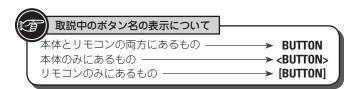
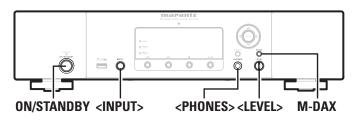
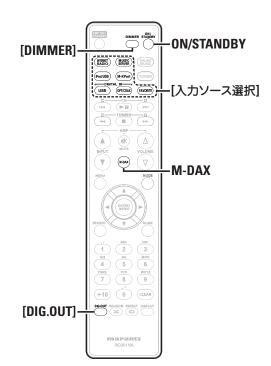
❑RS-232C

外部コントロール機器と接続します。
（接続の際はストレートケーブルを使用します。また、メンテナンス用にも使用します。）

❑FLASHER IN

コントロール BOX 等を接続することにより、本機をコントロールできます。

電源コードの接続

すべての接続が終わってから、電源コードを接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

基本操作

ここでは、設定や再生等の基本操作を説明します。
その他の操作方法は、以下の章をご覧ください。

❑ **その他の設定 [Other]（☞24 ページ）**

準備

電源を入れる

ON/STANDBY を押す。
電源が入り、電源表示が消灯します。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** を押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。

❑電源を完全に切るには

電源コードを壁のコンセントから抜く。

- 長期に渡り電源コードをコンセントから抜いた状態でいると、各ソースで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

電源を切る

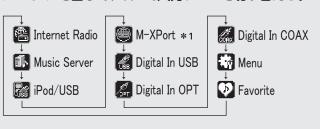
ON/STANDBY を押す。
電源表示が消灯し、電源が切れます。

ご注意

再生を停止してから、電源を切ってください。

再生中にできる操作

入力ソースを切り替える

<INPUT> を回して、◁ ▷ で入力ソースを切り替える。

＊1 "M-XPort" は M-XPort にワイヤレスレシーバー RX101 を接続しているときのみ表示します。

入力ソース選択ボタン（[INTERNET RADIO]、[MUSIC SERVER]、[iPod/USB]、[M-XPort]、[USB]、[OPT/COAX] または [FAVORITE]）を押す。

M-DAX (Marantz Dynamic Audio eXpander)

MP3 や、AAC ファイルなどの圧縮形式で失われた音域成分を補う機能です。
お好みに合わせて効果のレベルを次のように切り替えることができます。

"High"： 強めの効果
"Mid"： 中間の効果
"Low"： 弱めの効果
"Off"： 機能しない

【リモコンでの操作】
M-DAX を押す。
押すたびに M-DAX の効果が変わります。

M-DAX モードが Low、Mid または High のとき、M-DAX インジケーターが点灯します（☞28 ページ）。

M-DAX は 48kHz 以下の PCM、MP3、WMA および AAC に対応しています。

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

- “Off” 設定時、ボタン操作を行うと、一時的に 25％の明るさで点灯します。
- “Off” 設定時、フロントパネルの“DISPLAY OFF”表示が点灯します。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子（PHONES）に差し込む。

音量を調節する

<LEVEL> を回す。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

デジタル出力を設定する

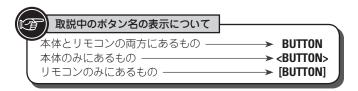
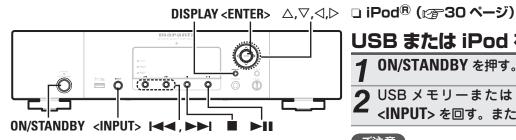
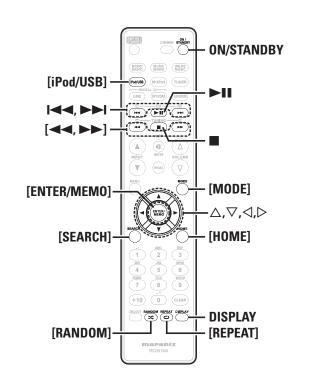
DIGITAL OUT 端子（COAXIAL, OPTICAL）からの出力を設定します。

停止中に [DIG. OUT] を押す。

[DIG.OUT] を押すごとにリアパネルの DIGITAL OUT 端子（COAXIAL, OPTICAL）の出力の“On”と“Off”を切り替えます。

【選択できるモード】

On ：デジタル信号を出力します。
Off ：デジタル信号を出力しません。

- デジタル出力をオフにすると、フロントパネルの“DIG.OUT OFF”表示が点灯します。
- デジタル出力をオフにすると、ANALOG OUT 端子からの音声出力をより良い音質で楽しむことができます。
- デジタル出力の設定は、電源をオフにしても解除しません。

iPod® の再生

本機で iPod の音楽を楽しむことができます。
また、本機またはリモコンで iPod を操作することもできます。
本機が対応している iPod のモデルは「iPod を接続する」（☞6 ページ）をご覧ください。

❑ iPod®（☞30 ページ）

USB または iPod を再生する前に

1 **ON/STANDBY を押す。**

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを接続し、<INPUT> を回す。または [iPod/USB] を押す。**

ご注意

この機能は本機の電源をオンにしてから 1 ～ 2 分後に有効になります。

iPod を再生する

1 **[MODE] を押して表示モードを選択します。**
ボタンを押すごとにモードを切り替えます。

• iPod のデータを表示するモードは 2 つあります。

リモートモード	iPod の情報を本機に表示させて操作するモードです。
ダイレクトモード	iPod に表示される画面を見ながら、直接 iPod 本体を操作するモードです。

• 本機のディスプレイに"Direct iPod"を表示します。

選択できるモード		リモートモード	ダイレクトモード
表示する場所		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	✓	✓
	動画ファイル		✓
操作できるボタン	本機とリモコン	✓	✓
	iPod®		✓

お買い上げ時の設定はダイレクトモードです。

2 **△▽ を押して項目を選び、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押して再生したいファイルを選ぶ。**

3 **▶/II を押す。**
再生を始めます。

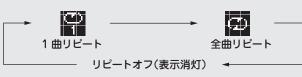
ご注意

• 本機のダイレクトモードは、iPod nano 1G および iPod video には対応していません。
• 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
• iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

❑リモコンのボタンと iPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶II	▶II	再生 / 一時停止
⏮、⏭	⏮、⏭	オートサーチ（頭出し）
◀◀、▶▶（長押し）	⏮、⏭（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△、▽	クリックホイール	カーソル上下
ENTER/MEMO または ▷	セレクト	設定の確定 / 再生
MODE	–	ダイレクトモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	–	リピート再生
RANDOM	–	シャッフル再生
◁	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン
■	–	停止
HOME	–	トップメニューに戻る（リモートモードのみ）

くり返し再生する（リピート再生）

[REPEAT] を押す。
それぞれのくり返し再生を始めます。

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	通常の再生に戻ります。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 **停止中に [RANDOM] を押す。**
“⤮”を表示します。

2 **▶/II を押す。**
順不同に再生を始めます。

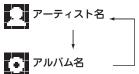
✎

ダイレクトモードを選択しているとき、ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、一通りのランダム再生後違った曲順でランダム再生をおこないます。

❑ランダム再生を解除するには

停止中に **[RANDOM]** を押す。
“⤮”が消灯します。

❑本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **DISPLAY** を押す。
ボタンを押すたびに、切り替わります。

iPod を取り外す

1 **ON/STANDBY を押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 USB 端子から iPod ケーブルを抜く。

USB メモリーの再生

本機は USB メモリーに保存している音楽やファイルを再生します。

❑ USB メモリーについて（☞30 ページ）

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする（☞11 ページ「USB または iPod を再生する前に」）。**

2 **△▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ を押してファイルを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER>、▷ または ▶II を押す。**
再生をはじめます。

✎

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ選べます。
- 本機で対応している MP3 ファイルの規格は、「MPEG-1 Audio Layer-3」です。

ご注意

- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものをお使いになる場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。
- 本機のフロントパネルの USB 端子（A タイプ）とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
  パソコンと接続するときは、リアパネルの USB 端子（B タイプ）と接続してください。

❑USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	本機の動作
▶II	再生 / 一時停止
I◀◀, ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
△, ▽	カーソル上下
ENTER/MEMO または ▷	設定の確定 / 再生
REPEAT	リピート再生
◁	メニューの呼び出し / メニューのリターン
■	停止
SEARCH	キャラクターサーチ *
HOME	トップメニューに戻る

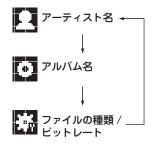
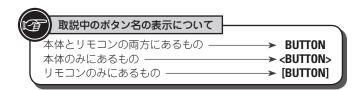
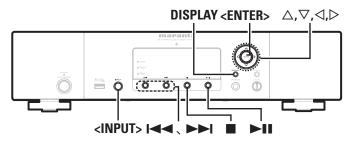
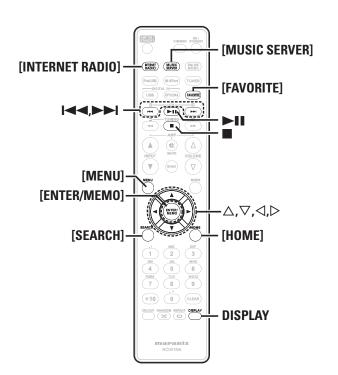
- 「くり返し再生する（リピート再生）」（☞11 ページ）

*[SEARCH] を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。

✎

リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

❑表示を切り替えるには

再生中に DISPLAY を押す。

ネットワークオーディオを再生する

インターネットラジオやパソコンに保存されている音楽ファイルを再生することができます。

❑ **インターネットラジオ機能について（☞31 ページ）**

❑ **ミュージックサーバー機能について（☞31 ページ）**

インターネットラジオを聴く

1 再生の準備をする。
① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる（☞9ページ「電源を入れる」）。
② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定［Network］」（☞19ページ））をおこなう。

2 **<INPUT> を回す。または [INTERNET RADIO] を押す。**

3 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **放送局リストが表示されるまで、手順3をくり返す。**
放送局リストを表示します。

5 **△▽ を押して放送局を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
バッファリングが"100%"表示になると、再生がはじまります。

- インターネット上には数多くのインターネットラジオ局があり、各ラジオ局から配信される放送や楽曲のビットレートには高低様々なものがあります。
  一般的に、ビットレートが高いほど高音質になりますが、通信回数やサーバーの混雑具合によってはストリーミングしている音楽や音声が途切れやすくなります。逆にビットレートが低ければ音質は低下しますが、途切れにくくなります。
- 放送局が混雑している場合や放送されていないときには、"Server Full"または"Connection Down"を表示します。
- 本機ではフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。ディスプレイ表示に対応していない文字は、"．(ピリオド)"に置き換えて表示します。
- **[DISPLAY]** を押すと、ファイルの種類 / ビットレートおよび放送局名を確認できます。

❑表示を切り替えるには

1 インターネットラジオ受信中に **[DISPLAY]** を押す。

2 放送局の情報や信号フォーマットビットレートを表示します。

❑最近再生したインターネットラジオ局を選ぶとき

"Recently Played" から、最近再生したインターネットラジオ局を選ぶことができます。
最大20局まで"Recently Played"へ自動的に記憶されます。

1 **△▽ を押して "Recently Played"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

2 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

❑キーワードでインターネットラジオ局を検索する

1 **△▽ を押して"Search by Keyword" を選び、<ENTER> または ▷ を押す。**

- 文字の入力方法については、26 ページをご覧ください。

2 **文字を入力して、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

❑インターネットラジオ局をお気に入りリストに登録する

お気に入りの放送局はお気に入りリストに登録することができます。（☞16 ページ）

❏インターネットラジオ受信時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MENU	メニュー
△▽◁▷	カーソル操作
ENTER/MEMO	確定
SEARCH	キャラクターサーチ ＊
HOME	トップページに戻る
■	停止
FAVORITE	お気に入りリストに好きな放送局の登録、呼び出し、List からの削除

＊ **[SEARCH]** を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。

リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

パソコンに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルおよびプレイリストを再生できます。

1 **再生の準備をする。**
① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる（☞9ページ「電源を入れる」）。
② 設定が必要な場合は、「ネットワークの設定［Network］」（☞19ページ）をおこなう。
③ パソコンの準備をする（☞パソコンの取扱説明書）。

2 **<INPUT> を回す。または [MUSIC SERVER] を押す。**

3 **△▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **△▽ を押して検索項目またはフォルダを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

5 **ファイルが表示されるまで、手順 4 をくり返す。**

6 **△▽ を押してファイルを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
バッファリングが“100％”表示になると、再生がはじまります。

- 音楽ファイルの再生には、必要なシステムとの接続および設定が必要です（☞6 ページ）。
- あらかじめパソコンのサーバーソフトを起動し、ファイルをサーバーコンテンツとして設定してください。詳しくは、サーバーソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。
- Windows Media Player（バージョン 11）などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。
- **DISPLAY** を押すと、ファイルの種類 / ビットレート、アーティスト名およびアルバム名を確認できます。

❏プリセットやお気に入りに登録して再生する

音楽ファイルについてもインターネットラジオと同様の操作で、プリセットやお気に入りに登録して再生することができます（☞16 ページ）。

ご注意

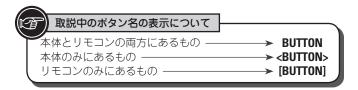
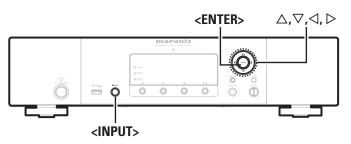
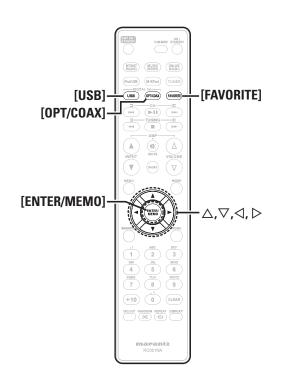
- 下記の操作をおこなうと、ミュージックサーバーのデータベースが更新され、プリセットやお気に入りに登録した音楽ファイルが再生できなくなる場合があります。
  - ミュージックサーバーを停止し、再起動した場合
  - ミュージックサーバーで音楽ファイルを削除または追加した場合
- ESCIENT サーバーを使用するときは、サーバー名の前に“ESCIENT”を入れてください。
- プリセット登録はできません。

❏ミュージックサーバーに使用できるボタン

操作ボタン	機能
MENU	メニュー
△▽◁▷	カーソル操作 / オートサーチ（頭出し、△▽）
ENTER/MEMO	確定
SEARCH	キャラクターサーチ ＊
HOME	トップページへ戻る
▶II	再生 / 一時停止
I◀◀ ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
■	停止
FAVORITE	お気に入りリストに好きな放送局の登録、呼び出し、List からの削除

- **「くり返し再生する（リピート再生）」（☞11 ページ）**
- **「順不同に再生する（ランダム再生）」（☞12 ページ）**

＊ **[SEARCH]** を押して、◁ ▷ で検索したい頭文字を選ぶ。

リストがアルファベット順に並んでいない場合、キャラクターサーチができないことがあります。

D/A コンバーターを使う

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機でアナログ変換して出力することができます(D/A コンバーター)。

デジタル機器と接続して再生する (Opt/Coax)

[OPT/COAX] を押す。または <INPUT> を回して入力ソースを"Digital In OPT" または"Digital In COAX" にする。

サンプリング周波数を検出できない場合は、"Signal Unlock "を表示します。

ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、128kHz、176.4kHz および 192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モード→ B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります

パソコンと接続して再生する(USB)

あらかじめ、本機のリアパネルの USB 端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは"パソコンとの接続"(☞5 ページ)をご覧ください。

[USB] を押す。または <INPUT> を回して入力ソースを"Digital In USB"にする。

本機表示が"Digital In USB"と表示したのち、約 10 秒間待ってから、パソコンの音楽再生ソフトを起動し操作してください。本機が D/A コンバーターとして機能します。

ご注意

- 再生、停止などの操作は、パソコンで操作してください。このとき本機のキーおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、音量およびイコライザーの調整も操作できます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機が D/A コンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音は出ません。
- パソコンの音楽再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USB 端子に接続したままパソコンを再起動してください。
- 対応サンプリング周波数は、32/44.1/48/96 kHz です。
- 音楽再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が、異なることがあります。

❑パソコン(推奨システム)

OS

- Windows® XP Service Pack2、Windows Vista および Windows 7
- Macintosh OSX 10.6.3

ソフトウェア

Windows Media Player と iTunes をサポートしています。

USB

USB 2.0: USB Full speed/USB Audio Class1

お気に入り機能

ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聞くことができる機能です。
- 登録、呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバーです。
- お気に入りリストには最大 50 個の登録が可能です。
- 51 番目に登録すると一番下の放送局(最もアクセスしていない放送局)が削除されます。
- リストから放送局を選択するとリストの先頭に移動します。

インターネットラジオ、ミュージックサーバーをお気に入りリストに登録する

1 **登録したい放送局やファイルを再生中に [FAVORITE] を押す。**
"Favorite" メニューを表示します。

2 **△▽ を押して"Add to Favorite"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
登録すると "Add to Favorite" を表示します。

お気に入りリストに登録したインターネットラジオ、ファイルを呼び出す

1 **[FAVORITE] を押す。**
"Favorite" メニューを表示します。

2 **△▽ を押して"Call Favorite"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
お気に入りリストを表示します。

3 **△▽ を押してお気に入りリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
各ソースに移行して、再生が始まります。

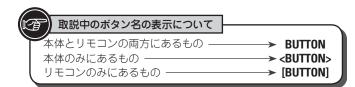
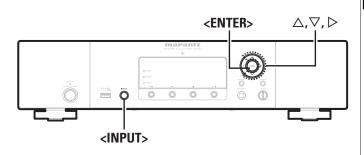
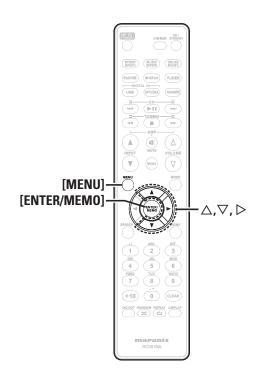
お気に入りリスト登録したインターネットラジオ、ファイルを削除する

1 **[FAVORITE] を押す。**
"Favorite" メニューを表示します。

2 **△▽ を押して"Delete Favorite"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
お気に入りリストを表示します。

3 **△▽ を押してお気に入りリストを選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

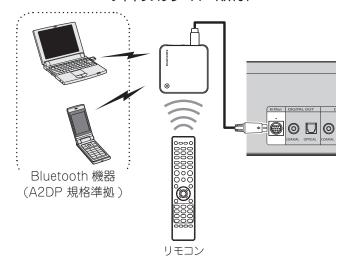
4 **"Delete?" が表示されたら [ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

- ◁ を押すとキャンセルできます。

メニューマップ

設定項目	詳細項目		説明	ページ
Network [Network] 1/5 ► Connecting Party Mode	Connection		有線接続の設定を行います。	19
		DHCP	DHCP の設定を行います。	19
		IP Address	IP アドレスの設定を行います。	19
		Subnet Mask	サブネットマスクの設定を行います。	19
		Gateway	ゲートウェイの設定を行います。	19
		Primary DNS	プライマリ DNS の設定を行います。	19
		Secondary DNS	セカンダリ DNS の設定を行います。	19
		Proxy	プロキシの設定を行います。	20
		Connection	接続テストを行います。	19
	Party Mode		パーティーモードを開始 / 終了します。	20
		Party Mode Function	パーティーモードの有効 / 無効を設定します。	20
	Other Network		ネットワークのその他の設定を行います。	20
		Network Standby	スタンバイ時にネットワーク機能を有効にします。	22
		PC Language	ネットワーク上で表示される言語を設定します。	22
		Friendly Name Edit	ネットワーク上に表示される名前を編集します。	22
		Zone Management	同じネットワークに接続されている製品の状態を，最大 10 台まで表示し、操作します。	23
		Update Notification	アップデートの通知を設定します。	23
		Upgrade Notification	アップグレードの通知を設定します。	24
	Network Info.		ネットワークの各種設定値を表示します。	–
Other [Other] 1/6 ► Auto Standby Screen Saver	Auto Standby		未使用時に自動的にスタンバイにします。	24
	Screen Saver		スクリーンセーバーを起動します。	24
	IR Setting		リモコン受信を無効にします。	18
	Firmware Update		ファームウェアのアップデートを開始します。	24
	Add New Feature		本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードを行います。	25

ワイヤレスレシーバー（RX101）を接続する

本機にワイヤレスレシーバー RX101（付属）を接続すると、Bluetooth 通信機能により、本機は他の機器の音声信号を受信して再生します。

- A2DP 規格に準拠した Bluetooth 機器をお使いください（☞32 ページ「A2DP 規格」）。
- ワイヤレスレシーバー RX101 は外部の赤外線受光器としても使用することができます。
- ワイヤレスレシーバー側の設定も必要です。詳しくは、ワイヤレスレシーバー RX101 の取扱説明書をご覧ください。

リモートコントロール端子

本機とマランツ製のアンプを組み合わせて使用するときに、アンプから本機に送られてくる本機の操作信号を受けて本機が動作します。

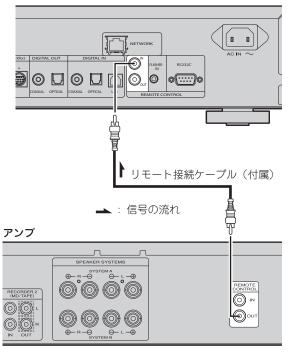
❏接続

付属のリモート接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

❏設定

この機能を使用するために、本体の"IR Setting"を"Disable"に設定します（☞18 ページ「リモートコントロール接続」）。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに本機のみを使用する場合は、"IR Setting"を"Enable"に設定してください。

リモートコントロール接続

本機と接続した RX101 のリモートセンサーを使って本機とマランツ製のアンプを操作することができます。

ご注意

このリモートコントロール接続を行う場合、RX101 と接続しているマランツ製アンプのの IR スイッチを"ON"にしてください。

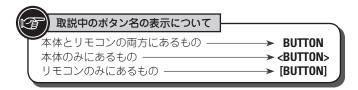
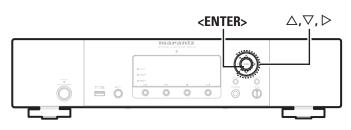
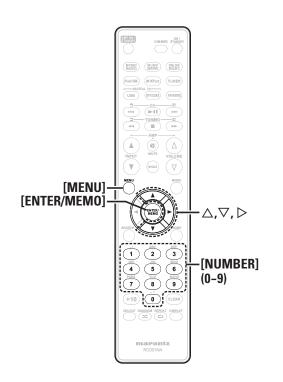
リモートコントロールの設定

1 **<INPUT> を回す。または [MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞17 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ を押して"Other" - "IR Setting" - "Disable" を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

もとの設定に戻すには、手順 1 と 2 の操作で"Enable"を選び、**<ENTER>** を押します。

ご注意

"Disable"に設定しているときは、本機をリモコンで操作できません。

ネットワークの設定 [Network]

ブロードバンドルータ（DHCP 機能）をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、メニューの「ネットワーク接続（DHCP=Off）」（☞19 ページ）で、IP アドレスなどの設定をおこなってください。

ご注意

手動で設定する場合は、設定内容をネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク接続

1 **イーサーネットワークケーブルを接続する。**
（☞6 ページ「ホームネットワーク（LAN）に接続する」）

2 **本機の電源をオンにする。**
（☞9 ページ「電源を入れる」）

3 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞17 ページ「メニューマップ」）。

4 **△▽ で“Network”-“Connection”-“DHCP (Off)”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“DHCP”メニューを表示します。

• このとき、“DHCP (On)”であれば手順 6 へ進んでください。

5 **△▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
• “Connection”メニューを表示します。

6 **△▽ で“Connection”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

接続を開始します。

• 接続が成功すれば“Succeeded”、接続が失敗した場合は“Failed”を表示します。

ご注意

ご利用のプロバイダによっては手動で設定する必要があります。手動で設定する必要のある方は“ネットワーク接続（DHCP=Off）”の手順で設定をおこなってください。

ネットワーク接続（DHCP=Off）

1 **“ネットワーク接続”の手順 1 から 4 をおこない、手順 5 で“Off”を選ぶ。**
“Connection”メニューを表示します。

2 **△▽ で“IP Address”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“IP Address”入力メニューを表示します。

3 **△▽▷ または [NUMBER] (0 – 9) でアドレスを入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**

4 **同様に Subnet Mask、Gateway、Primary DNS、Secondary DNS にアドレスを入力してください。**

5 **アドレス入力後、“ネットワーク接続”の手順 6 を行って接続してください。**

プロキシの設定

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で"Network" -"Connection" -"Proxy"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Proxy"設定メニューを表示します。

3 **"Proxy(On)" と表示された場合は手順 5 へ、"Proxy(Off)" と表示された場合は [ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押します。**
"Proxy"(On/Off) 設定メニューが表示されます。

4 **△▽ で"On"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Proxy"設定メニューを表示します。

5 **△▽ で"Proxy(Address)" または"Proxy(Name)"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Select Type"設定メニューを表示します。

- Proxy の設定で、server address または domain name を選択します。

6 **△▽ で"Address" または"Name" を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Proxy"設定メニューを表示します。

7 **△▽ で"Address"または"Name"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Address"または"Name"入力メニューを表示します。

- Server address または domain name を入力します。

8 **△▽▷ または [NUMBER] (0 – 9) でアドレスまたはドメイン名を入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
"Proxy"設定メニューを表示します。

9 **△▽ で"Port"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Port"入力メニューを表示します。

10 **△▽ ▷ または [NUMBER] (0 – 9) でプロキシサーバーのポート番号を入力し、[ENTER/MEMO] または <ENTER> を押す。**
プロキシの設定を終了します。

パーティーモード機能

同じネットワークに接続されているパーティーモード機能を搭載した製品間で、同じネットワークオーディオ(インターネットラジオ、ミュージックサーバーまたは iPod)を同時に楽しむことができます。
パーティーモードは、1 台のオーガナイザー(親機)と最大 4 台のアテンディー(子機)で構成します。
ある 1 台がオーガナイザーとしてパーティーモードを開始すると、パーティーモード機能を有効にしている最大 4 台の機器が自動的にアテンディーとしてそのパーティーに参加することができます。パーティーモード機能を利用するには、あらかじめ"Party Mode Function"を"ON"に設定する必要があります。

❑パーティーモード機能の設定

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で"Network" -"Party Mode" -"Party Mode Function"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"P-Mode Function"メニューを表示します。

3 **△▽ で"On"または"Off"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

On	： パーティーモード機能が有効になります。
Off	： パーティーモード機能が無効になります。

❑オーガナイザー(親機)としてパーティーモードを開始する

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。(☞17 ページ「メニューマップ」)

2 **△▽ で"Network" -"Party Mode" -"Start Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

- ネットワークに接続していない場合は、エラーメッセージを表示します。
- 入力ソースは自動的に"Music Server" に切り替わり、アテンディー(子機)が自動的に選ばれます。

3 **好きな曲を再生する。**

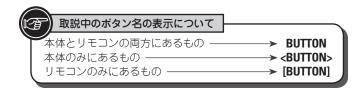
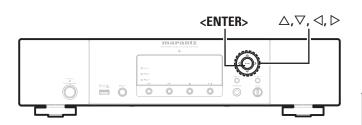
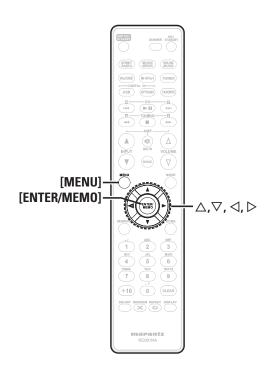
パーティーモードを終了するとき

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。(☞17 ページ「メニューマップ」)

2 **△▽ で"Stop Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
メニュー画面に"Exit Party Mode?"が表示されます。

3 **△▽ で"Yes"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Attendee P.Off?"を表示します。

4 **△▽ で"Yes"または"No"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

Yes	：アテンディー機器の電源を切ってパーティーモードを終了します。
No	：アテンディー機器の電源を切らないでパーティーモードを終了します。

❑アテンディー（子機）としてパーティーモードに参加する

- オーガナイザーがパーティーモードを開始すると、自動的に最大 4 台がアテンディーとして選ばれますので、操作は必要ありません。
- アテンディーになると、ディスプレイに **Party Mode Attendee** を表示します。入力ソースは自動的に"Music Server" に切り替わり、オーガナイザーと同じネットワークオーディオの再生を楽しむことができます。
- アテンディーが 4 台に満たない場合は、後からパーティーモードに参加することもできます。パーティーモードに参加する場合は、以下の操作をおこなってください。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞17 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ で"Network" − "Party Mode" − "Start Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

- ネットワークに接続していない場合は、エラーメッセージを表示します。

アテンディー（子機）から選曲するとき

パーティーモードを開始すると、アテンディー（子機）のディスプレイに"Party Mode Attendee" を表示後、オーガナイザー（親機）の再生情報を表示します。

1 **◁ を押すと、オーガナイザー（親機）の入力ソースを表示します。**

2 **△▽ を押して入力ソースを切り替え、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

3 **△▽ を押して再生したい項目を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

パーティーモードを終了するとき

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します。（☞17 ページ「メニューマップ」）

2 **△▽ で"Stop Party"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
メニュー画面に"Exit Party Mode?"が表示されます。

3 **△▽ で"Yes"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
この場合、他の機器のパーティーモードは継続しています。

パーティーモードでは、"USB"のご利用はできません。
同じネットワーク内でオーガナイザーは 1 台のみです。新たにパーティーモードを構成する場合は、一旦パーティーモードを終了してください。

ネットワークスタンバイの設定

スタンバイ時のネットワーク機能のオン / オフを設定します。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞17 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で"Network" -"Other Network" -"Network Standby" を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Network Standby" メニューを表示します。

3 **△▽ で"On"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

On	ネットワークの接続が完了するまでの時間が短くなります。 • スタンバイ時の消費電力が多くかかります。
Off	スタンバイ時の消費電力は最少です。 • ネットワークの接続が完了するまでの時間が、やや多くかかります。 • お買い上げ時の設定です。

ウェブコントロール機能をご使用になるときは"ON" に設定してください。

PC 言語の設定

パソコンの言語を選びます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞17 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で"Network"- "Other Network" - "PC Language"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"PC Language" 設定メニューを表示します。

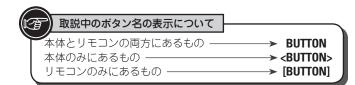
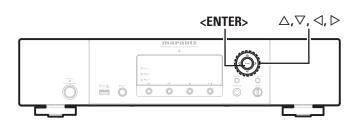
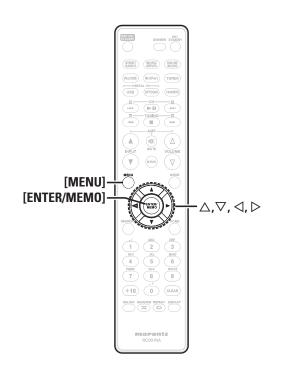
3 **△▽ であなたのパソコンの言語を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

フレンドリーネームの編集

フレンドリーネームとは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞17 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で"Network"- "Other Network" - "Friendly Name Edit"を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
"Friendly Name Edit" メニューを表示します。

3 **フレンドリーネームの編集を行う。**
文字の入力方法は「文字入力について」（☞26 ページ）を参照してください。

ゾーンマネージメント機能

“Zone Management” メニューにある“Device Control” では、手順 3 で選択した機器のネットワーク機能(インターネットラジオなど)の操作を本機からおこなえます。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ を押して、メニューの“Network” – “Other Network” – “Zone Management”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

- 同じネットワークに接続されている機器の状態を、最大 10 台まで表示します。

3 **△▽ を押して機器を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

4 **△▽ を押して“Device Control”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
本機のディスプレイに、手順 3 で選択した機器のネットワークメニューを表示します。

5 **△▽、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押して、お好みの曲を選ぶ。**

- 操作のしかたは、各機能の説明をご覧ください。

ゾーンマネージメント機能は、ゾーンマネージメント機能を搭載している機器との組み合わせでのみおこなえます。

ご注意

選択している機器の音量を本機で調節することはできますが、音量レベルは表示しません。音量の上げすぎにご注意ください。

アップデートの通知

“Firmware Update” でダウンロード可能なファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(☞6 ページ)。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Network” –“Other Network” – “Update Notification”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Update Notification”メニューを表示します。

3 **△▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

On	：アップデートの通知を表示します。
Off	：アップデートの通知を表示しません。

- 通知メッセージが表示されている間に **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押すと、“Check for Update” が表示されます。(“Firmware Update”の詳細は、24 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるには、◁ を押してください。

アップグレードの通知

“Add New Feature” で最新のファームウェアがリリースされている場合に、本機のメニュー画面に通知メッセージを表示します。この機能をご使用になるときは、インターネットブロードバンドに接続してください(☞6 ページ)。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Network” -“Other Network” -“Upgrade Notification”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Upgrade Notification” メニューを表示します。

3 **△▽ で“On”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

On	: アップグレードの通知を表示します。
Off	: アップグレードの通知を表示しません。

- 通知メッセージが表示されている間に **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押すと、“Add New Feature” が表示されます。(“Add New Feature”の詳細は、24 ページをご覧ください。)
- 通知メッセージを閉じるには、◁ を押してください。

その他の設定 [Other]

オートスタンバイ

オートスタンバイをオンにして、30 分間操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイモードになります。
- お買い上げ時のオートスタンバイ機能の設定はオフです。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Other”-“Auto Standby”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ ボタンを押す。**

3 **△▽ で“ON”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
設定が確定します。

ご注意

次のときはオートスタンバイ機能ははたらきません。
- USB 端子に iPod または USB メモリーを接続しているとき。
- 入力ソースが“Digital In USB”、“Digital In OPT”または“Digital In COAX”のとき
- 入力ソースが“M-XPort” で、M-XPort にワイヤレスレシーバー RX101 を接続しているとき
- 入力ソースが“INTERNET RADIO” または“MUSIC SERVER” で、イーサーネットケーブルでネットワークに接続されているとき

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定を行います。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Other”- “Screen Saver” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**
“Screen Saver” メニューを表示します。

3 **△▽ で“ON”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

ファームウェアのアップデート

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です(☞6 ページ)。
- ファームウェアアップデートの操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

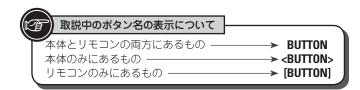
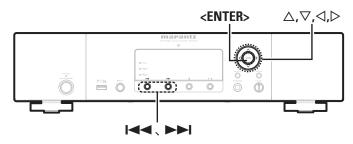
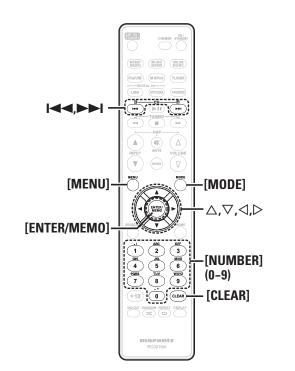
1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します(☞17 ページ「メニューマップ」)。

2 **△▽ で“Other”- “Firmware”を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

[選択できる項目]

Check for Update	: ファームアップウェアが最新かどうかの確認ができます。また、アップデートする場合のおよそのアップデート時間を確認できます。
Start	: アップデートを実行します。

- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。それでもアップデートできない場合は、下記のいずれかのメッセージがディスプレイに表示されます。このような場合は、設定やネットワーク環境の確認をおこなった上で、再度アップデートしてください。

ディスプレイ表示	説　明
Updating fail	アップデートに失敗しました。
Login failed	サーバーへのログインに失敗しました。
Server is busy	サーバーが混雑しています。しばらく時間をおいてから、やり直してください。
Connection fail	サーバーへの接続に失敗しました。
Download fail	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。

新機能の追加

- これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です（☞6 ページ）。
- 新機能の追加の操作は、本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。

1 **[MENU] を押す。**
メニュー設定モードになり、ディスプレイにメニューを表示します（☞17 ページ「メニューマップ」）。

2 **△▽ で“Other”-“Add New Feature” を選び、[ENTER/MEMO]、<ENTER> または ▷ を押す。**

[選択できる項目]

Upgrade	: アップグレードを実行します。

- アップグレードができなかった場合は、ディスプレイに“Firmware Update” と同様のメッセージが表示されます。この場合は、ネットワーク環境を確認し、再度アップデートしてください。

Upgrade Status	: アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
Upgrade ID	: お手続きの際には、この画面に表示されている ID 番号が必要になります。

アップグレードをご利用になる場合の詳細については、弊社ホームページをご覧ください。お手続きが完了すると、このメニューに“Registered” と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“Not Registered” が表示されます。

[“Firmware Update”および“Add New Feature”をおこなったときのご注意]

- アップデート / アップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデート / アップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。
- 一旦アップデートを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータが初期化される場合があります。
- アップデートやアップグレード中に更新が失敗した場合は、電源コードを再度挿入し直してください。ディスプレイに“Update Retry” が表示され、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

- “Firmware Update” および“Add New Feature” に関する情報は、その計画が明らかになるたびに当社ホームページなどで告知する予定です。
- “Firmware Update” や“Add New Feature” で利用可能な新しいファームウェアがリリースされるとメニュー画面に通知メッセージを表示します。表示させたくない場合は、“Update Notification”（☞23 ページ）および“Upgrade Notification”（☞24 ページ）を “OFF”に設定してください。

その他の機能

文字入力について

本機は、ネットワーク機能の画面表示名をお好みに合わせて変更することができます。
文字の入力には、次の 2 通りの方法があります。

入力方式	操作の概要
数字ボタンで入力する	• リモコンで操作します。 • 一つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
カーソルボタンで入力する	• リモコンまたは本体で操作します。 • △▽◁ ▷ と **[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** で文字を入力します。

❏入力画面の表示

【Friendly Name Edit】

数字ボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

2 ◁ ▷ を押して変更したい文字にカーソルを合わせ、入力したい文字が表示されるまで、**[NUMBER]（0 〜 9）**を押す。

• 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

- 1（. /）: 1 . @ - _ / : 〜
- 2（ABC）: a b c A B C 2
- 3（DEF）: d e f D E F 3
- 4（GHI）: g h i G H I 4
- 5（JKL）: j k l J K L 5
- 6（MNO）: m n o M N O 6
- 7（PQRS）: p q r s P Q R S 7
- 8（TUV）: t u v T U V 8
- 9（WXYZ）: w x y z W X Y Z 9
- 0（_ *）: 0（スペース）! “ # $ % & ‘ ( ) * + , ; < = > ? [\ ] ^ ` { | }

• 文字を入力中に **[MODE]** を押すと、大文字と小文字を切り替えることができます。
• 同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、文字を入力した後に ▷ を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力してください。
• 別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは、続けて別のボタンを押すと、自動的にカーソルを移動し、文字を確定します。

3 手順 2 をくり返して名前を変更し、**[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押して入力した文字を確定する。

カーソルボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

2 ◁ ▷ を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。

3 △▽ を押して文字を変更します。

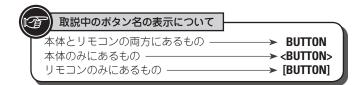
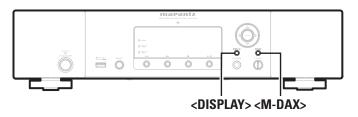
• 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【英小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【記号】! “ # $ % & ‘ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { | } 〜
【数字】0123456789（空白）

• 文字を入力中に **[MODE]** を押すと、大文字と小文字を切り替えることができます。

他のボタン

• 文字を削除する場合は、**I◀◀** または **[CLEAR]** を押します。
• スペースを入れる場合は、**▶▶I** を押します。

4 手順 2、3 をくり返して名前を変更し、**[ENTER/MEMO]** または **<ENTER>** を押して入力した文字を確定する。

ウェブコントロール機能

ブラウザを使用して、本機を操作することができます。

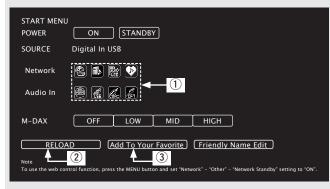
1 “Network Standby”の設定を“ON”にする（☞22ページ）。

2 “Menu” - “Network” - “Network Information”で、本機の IP アドレスを確認する。

3 ブラウザのアドレスに、本機の IP アドレスを入力する。

例えば、本機の IP アドレスが“192.168.11.51” の場合は、“http://192.168.11.51”と入力してください。

4 操作する。

【例 1】スタートメニューコントロール画面

① 各操作をおこなうときにクリックします。
各操作画面になります。

② 最新の情報に更新するときにクリックします。
通常は操作するたびに、最新の情報に切り替わります。本体側で操作された場合は、画面は更新されませんので、クリックしてください。

③ ブラウザの「お気に入り」に登録するときにクリックします。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種の設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。マイコンを初期化すると、各種の設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 電源コードを抜く。

2 <M-DAX> と <DISPLAY> を同時に押しながら、コンセントに電源プラグを差し込む。

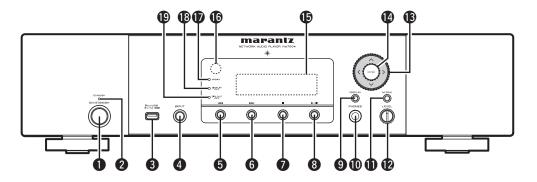
“Initialized”を表示します。

手順 2 で“Initialized” が表示しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

情報

各部の名称

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ **電源操作ボタン(ON/STANDBY)** ……………………………(9)

❷ **電源表示(STANDBY)** ……………………………………(9)

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時 ………………………………………………消灯
- 電源スタンバイ時 ………………………………………赤色
- ネットワークスタンバイ時………………………………橙色

❸ **USB端子(Aタイプ)(iPod/USB)** ……………………………(8)

USB を接続します。

❹ **入力ソース選択つまみ(INPUT)** …………………………(9)

入力ソースを選択します。

❺ **早戻しボタン(⏮)** …………………………………………(11)

❻ **早送りボタン(⏭)** …………………………………………(11)

❼ **ストップボタン(■)** ………………………………………(11)

❽ **プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚)** ………………………………(11)

❾ **ディスプレイボタン(DISPLAY)**…………………………(12)

❿ **ヘッドホン端子(PHONES)** ………………………………(10)

⓫ **M-DAXボタン** ………………………………………………(9)

⓬ **ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)** ……………………(10)

⓭ **カーソルボタン(△▽◁▷)** ………………………………(11)

⓮ **エンターボタン(ENTER)**…………………………………(11)

項目の決定に使用します。

⓯ **ディスプレイ**

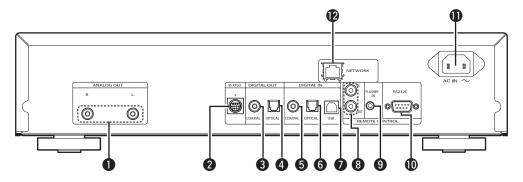
⓰ **リモコン受光部**……………………………………………(3)

⓱ **M-DAX表示** ………………………………………………(10)

⓲ **DISPLAY OFF表示** ………………………………………(10)

⓳ **DIGITAL OUT OFF表示(DIG.OUT OFF)**………………(10)

リアパネル

❶アナログ音声出力端子
（ANALOG OUT）……（4）

❷M-XPort……（18）
ワイヤレスレシーバー RX101 と接続してください。

❸デジタル音声出力端子
（DIGITAL OUT COAXIAL）……（4）

❹デジタル音声出力端子
（DIGITAL OUT OPTICAL）……（4）

❺デジタル音声入力端子
（DIGITAL IN COAXIAL）……（5）

❻デジタル音声入力端子
（DIGITAL IN OPTICAL）……（5）

❼USB端子（Bタイプ）……（5）

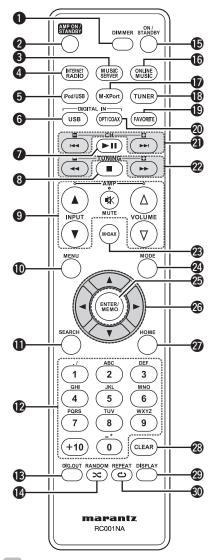
❽リモートコントロール入出力端子
（REMOTE CONTROL IN/OUT）……（18）

❾フラッシャーイン端子
（FLASHER IN）……（8）

❿RS-232C端子……（8）

⓫ACインレット（AC IN）……（8）

⓬ネットワーク端子（NETWORK）……（6）

リモコン

- このリモコンは、マランツ製品のプリメインアンプを操作することができます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

一部操作ができない製品もあります。

❶ディマーボタン（DIMMER）……（10）

❷アンプ操作ボタン
（AMP ON/STANDBY）

❸ミュージックサーバーボタン
（MUSIC SERVER）……（14）

❹インターネットラジオボタン
（INTERNET RADIO）……（13）

❺iPod/USBボタン……（11）

❻DIGITAL IN USBボタン……（15）

❼プレイ/ポーズボタン（▶❚❚）……（11）

❽ストップボタン（■）……（11）

❾アンプ用操作ボタン
入力切替ボタン（▲▼）
音量調節ボタン（△▽）
ミューティングボタン（MUTE）

❿メニューボタン（MENU）……（14）

⓫サーチボタン（SEARCH）……（12）

⓬番号ボタン……（19）

⓭デジタル出力ボタン（DIG.OUT）……（10）

⓮ランダムボタン（RANDOM）……（12）

⓯電源ボタン（ON/STANDBY）……（9）

⓰オンラインミュージックボタン
（ONLINE MUSIC）
本機では使用しません。

⓱M-XPortボタン……（9）

⓲チューナーボタン（TUNER）
本機では使用しません。

⓳お気に入りボタン（FAVORITE）……（16）

⓴DIGITAL IN OPT/COAXボタン……（15）

㉑スキップボタン（❙◀◀、▶▶❙）……（11）

㉒サーチボタン（◀◀、▶▶）……（11）

㉓M-DAXボタン……（9）

㉔モードボタン（MODE）……（11）

㉕エンター/メモボタン（ENTER/MEMO）……（11）

㉖カーソルボタン（△▽◁ ▷）……（11）

㉗ホームボタン（HOME）……（11）

㉘クリアボタン（CLEAR）……（26）

㉙ディスプレイボタン（DISPLAY）……（12）

㉚リピートボタン（REPEAT）……（11）

iPod®

Made for iPod iPhone

"Made for iPod," and "Made for iPhone," mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

ご注意

- 万一、iPod および iPhone のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod および iPhone のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機に iPhone を接続するときは、iPhone を本機から 20cm 以上離してください。iPhone を本機に近付けていると、iPhone が電話を受信したときに、本機の音声出力にノイズが入ることがあります。

USB メモリーについて

知っておいてほしいこと

❑USB メモリーについて

本機の USB 端子に USB メモリーを接続すると、USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生することができます。
また、本機の USB 端子に iPod を直接接続しても、iPod に保存されたファイルを再生することができます。詳しくは、「iPod を接続する」（☞6 ページ）をご覧ください。

- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP（Media Transfer Protocol）に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーのフォーマットは、FAT16 または FAT32 に対応しています。

ファイル数が 1000 を超える場合、アクセス速度が遅くなる場合があります。

【 再生できるフォーマット 】

	USBメモリー＊1
WMA (Windows Media Audio)	✓＊2
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓
WAV	✓
MPEG-4 AAC	✓＊3
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	✓

＊1 USB メモリーについて
- MP3 ID3 タグ（バージョン 2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

＊2 MTP に対応した一部のポータブルプレーヤーは、著作権保護のあるファイルを再生できます。

＊3 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

【 再生できるフォーマット 】

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48 – 192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32 – 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 – 320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/96 kHz	–	.flac

"Windows Media" および "Windows" は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

ネットワークオーディオについて

知っておいてほしいこと

❑インターネットラジオ機能について

- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機には、次のインターネットラジオ機能があります。
  - ジャンル別、地域別に選べます。
  - 最大 56 曲のインターネットラジオ局をプリセット登録できます。
  - MP3 や WMA（Windows Media Audio）フォーマットのインターネットラジオ放送を聴くことができます。
  - パソコン上の Web ブラウザから弊社のインターネットラジオ用の URL にアクセスすると、お気に入りのラジオを登録することができます。
- お客様の機器ごとに管理をしますので、MAC アドレスや E-mail アドレスの登録が必要になります。
  専用 URL：http://www.radiomarantz.com
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner）を利用しています。このデータベースサービスは、本機用に編集および作成されたリストです。

❑ミュージックサーバー機能について

ネットワークを経由して、本機に接続されたパソコン（ミュージックサーバー）に保存された音楽ファイルまたはプレイリスト（m3u、wpl）を再生することができます。
本機のネットワークオーディオ再生機能には、次の技術を利用してサーバーに接続できます。
- Windows Media Player Network Sharing Service
- Windows Media DRM10

【 再生できるフォーマット 】

	インターネットラジオ	ミュージックサーバー ＊1
WMA (Windows Media Audio)	✓	✓
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	✓	✓
WAV		✓
MPEG-4 AAC		✓＊2
FLAC (Free Lossless Audio Codec)		✓

ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

＊1 ミュージックサーバーについて
- MP3 ID3 タグ（バージョン 2）に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- WAV フォーマットの量子化ビット数は、16 ビットです。

＊2 著作権保護の無いファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

【 再生できるフォーマット 】

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA (Windows Media Audio)	32/44.1/48 kHz	48 – 192 kbps	.wma
MP3 (MPEG-1 Audio Layer-3)	32/44.1/48 kHz	32 – 320 kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48 kHz	–	.wav
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16 – 320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC (Free Lossless Audio Codec)	32/44.1/48/96 kHz	–	.flac

用語の解説

A

A2DP 規格
A2DP は、ケーブルの代わりに無線通信を使用する Bluetooth の車載機器向けや AV 機器向けに定められたプロファイルの 1 つです。

B

Bluetooth
携帯情報機器などで数 m 程度の機器間接続に使われる短距離無線通信技術の一つです。
ノートパソコンや PDA、携帯電話などをケーブルを使わずに接続し、音声やデータをやりとりすることができます。

D

DLNA
DLNA および DLNA CERTIFIED は Digital Living Network Alliance（デジタルリビングネットワークアライアンス）の商標 / サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED™ 製品と適合しないものがある可能性があります。

F

FLAC
可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、以下の通りです。

M

MP3 (MPEG Audio Layer-3)
音声データ圧縮方式のひとつで、国際的な標準規格です。
映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。
音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

V

vTuner
インターネットラジオの有料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合せは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner ホームページ：
http://www.radiomarantz.com

本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCoの知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else MattersSoftwareand BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

W

Windows Media DRM
マイクロソフト社が開発した著作権保護技術です。
コンテンツプロバイダーは、自らのコンテンツ（"セキュアコンテンツ"）の完全性を保護するために、本デバイス（"WMDRM"）に内蔵された Windows Media 用デジタル権管理技術を使用し、当該コンテンツに対する自らの知的財産権（著作権を含む）が悪用されないようにしています。
本デバイスは、セキュアコンテンツを再生するため、WMDRM ソフトウェア（"WM-DRM ソフトウェア"）を使用しています。本デバイス内の WM-DRM ソフトウェアのセキュリティがあやうくなった場合、セキュアコンテンツの所有者（"セキュアコンテンツオーナー"）は、マイクロソフト社が、セキュアコンテンツをコピー・表示・再生する新たなライセンスを得る WM-DRM ソフトウェアの権利を取り消すよう要請することができます。この取り消しは、保護されていないコンテンツを再生する WM-DRM ソフトウェアの能力には影響がありません。インターネットまたはパソコンからセキュアコンテンツのライセンスをダウンロードするときはいつも、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストがデバイスに送られます。マイクロソフト社は、セキュアコンテンツオーナーに代わって、当該ライセンスとともに、取り消された WM-DRM ソフトウェアのリストをデバイスにダウンロードすることができます。

Windows Media Player Ver. 11
マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。
Windows Media Player ver.11 で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、MP3、WAV ファイルなどが再生可能です。

WMA (Windows Media Audio)
米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコード（符号化）することができます。
WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

さ行

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。
1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た行

ダイナミックレンジ
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

は行

ビットレート（Bit rate）
ディスクに収録された映像・音声のデータを 1 秒間に読み込む量をあらわします。

故障かな？と思ったら

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症状	原因	対策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	• 外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	• マイコンを初期化してください。	27
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	• 電源コードの差し込みが不完全である。	• 本機のリアパネルおよびコンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	8
ディスプレイは点灯するが、音が出ない。	• ソースと合っていない。	• 適切なソースに切り替えてください。	9
ディスプレイの表示が消える。	• ディマー機能が「OFF」になっている。	•「OFF」以外に設定してください。	10

【リモコン】

症状	原因	対策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	• 乾電池が消耗している。	• 新しい乾電池と交換してください。	3
	• 本体から離れすぎているか、角度が良くない。	• リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲内で操作してください。	3
	• 本機とリモコンの間に障害物がある。	• 障害物を取り除いてください。	–
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。	• 正しい極性でセットしてください。	3
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっている。	• 受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	3

【インターネットラジオ / ミュージックサーバー /iPod/USB】

症状	原因	対策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“USB”を表示しない。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	• 接続を確認してください。	8
	• マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	• 本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	–
	• 本機が認識できないデバイスを接続している。	• 故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	–
	• USB ハブ経由で接続している。	• USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB メモリーも再生できません。	–
iPod が再生できない。	• ソースが“iPod/USB”以外になっている。	• ソースを“iPod/USB”に切り替えてください。	11
	• ケーブルを正しく接続していない。	• 接続をやり直してください。	6
USB メモリー内のファイルが再生できない。	• USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	• フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。	–
	• 複数のパーティションに分かれている。	• 複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	–
	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録している。	• 対応しているフォーマットで記録してください。	30
	• 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	30
インターネットラジオが再生できない。	• イーサネットケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断される。	• 接続状態を確認してください。	6
	• 対応していないフォーマットで放送されています。	• 本機で再生できるインターネットラジオのフォーマットは MP3 と WMA のみです。	31
	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。	• 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	–
	• ラジオステーションが放送を停止している。	• 放送中のラジオステーションを選んでください。	13
	• IP アドレスが違っている。	• 本機の IP アドレスを確認してください。	17

症状	原因	対策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。 • 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	• 対応しているフォーマットで記録してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	31 31
パソコンから音声を出力したときの音量が小さい。	• パソコンの音量が下がっている。	• パソコンの音量を上げる。	15
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいている。 • パソコンの電源が入っていない。 • サーバーが起動していない。 • 本機のIP アドレスが正しくない。	• 接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。 • 電源を入れてください。 • サーバーを起動してください。 • 本機の IP アドレスを確認してください。	– – – 17
プリセットまたはお気に入りに登録したラジオステーションに接続できない。	• ラジオステーションが放送を休止している。 • ラジオステーションがサービスを停止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。 • 放送中のラジオステーションを選んでください。	–
“Server Full”または“Connection Down”と表示され、接続できないラジオステーションがある。	• 放送局が混雑しているか、現在放送を休止している。	• しばらく時間をおいてやり直してください。	–
再生中に、音が途切れることがある。	• ネットワークの通信速度が遅いか、通信回線またはラジオステーションが混雑している。	• これは故障ではありません。ビットレートの高い放送データを再生している場合や、通信の状況によっては、音が途切れることがあります。	–
音質が良くない。または再生中にノイズが入る。	• 再生しているファイルのビットレートが低いです。	• これは故障ではありません。	–

【M-XPort】

症状	原因	対策	関連ページ
音声が出力されない。	• Bluetooth 機器とワイヤレスレシーバー（RX101）の間で、正しくペアリングされていない。	• もう一度ペアリングを実行してください。	–
音が歪む、または途切れる。	• このユニットと同じ周波数帯（2.4 ギガヘルツ）で電磁波を使用する無線 LAN か電子レンジなどの機器が側にあります。	• 本機を移動するか、Bluetooth 機器を設置した場所から移動してください。	–
Bluetooth 機器を操作できない。	• Bluetooth 機器が AVRCP コマンドに対応していない。	• お使いになる Bluetooth 機器の取扱説明書で、Bluetooth 機器が AVRCP コマンドに対応するかを調べてください。	–

保障と修理について

❏保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❏修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❏依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 ……… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 …. 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❏補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❏お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❏ オーディオ特性

• アナログ出力	
チャンネル:	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz ～ 96kHz
再生周波数特性:	2Hz ～ 50kHz(− 3dB) （サンプリング周波数：192kHz） 2Hz ～ 20kHz （サンプリング周波数：44.1kHz）
S/N比：	110dB(可聴帯域)
ダイナミックレンジ：	110dB(可聴帯域)
高調波歪率:	0.001%(1kHz、可聴帯域)
• 出力レベル：	
アンバランス	2.35V RMS stereo
ヘッドホン出力	18mW/32 Ω (可変最大)
• デジタル出力	
同軸出力（ピンジャック）：	0.5Vp-p
光出力（角型光コネクター）：	-19dBm
• デジタル入力	
信号方式：	デジタルオーディオインターフェース(リニア PCM)
同軸入力（ピンジャック）：	0.5Vp-p
光出力（角型光コネクター）：	-27dBm 以上
波長：	660nm

❏ 電源部

電源電圧/周波数	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	30W
待機時消費電力	0.4W

❏ その他

外形寸法（幅×高さ×奥行き）	440(幅) x 106(高さ) x 343(奥行き)mm
重さ	6.4 kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

❑外観寸法図（単位：mm）